

データでみるJAのイメージ

「食料・農業・JAに関するアンケート調査(2020年度)」より

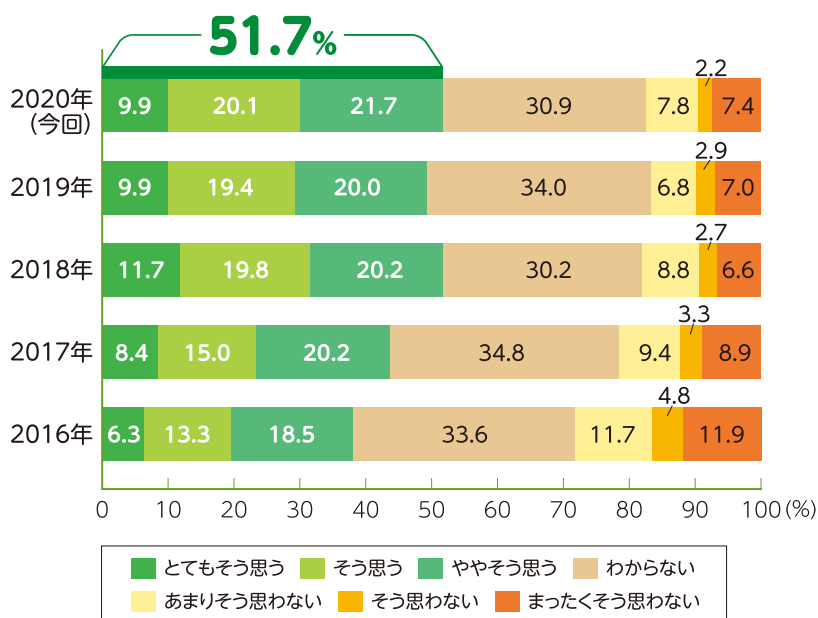
vol.1

日本で暮らす人たちの半数以上が 「JA(農協)は日本に欠かすことのできない組織」だと考えています

JA全中では毎年、日本全国の生活者を対象に「食料・農業・JAに関するアンケート調査」を実施しています。2020年度に実施したアンケートで、「JA(農協)は日本に欠かすことのできない組織」だと思うか質問したところ、51.7%の人が肯定的意見を回答しました。

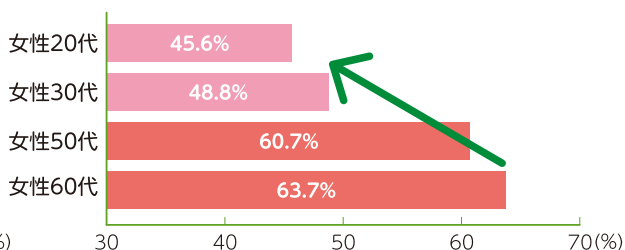
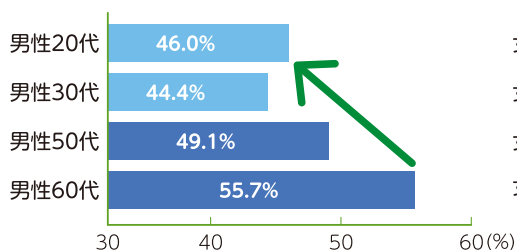
JA(農協)は「日本に欠かせない組織」だと思いますか？

「食料・農業・JAに関するアンケート調査」では、「JA(農協)は日本に欠かせない組織」だと思う人の割合が2018年に51.7%と初めて過半数を超えたものの、2019年度には49.3%と若干減少し、2020年度再び過半数を超えました。以前に比べると「JA(農協)が日本に欠かせない」と思う人が高い割合で定着しつつあり、否定的な意見を持つ人の割合も減少傾向にあります。



若い人たちにも 評価してもらえるように することが課題

肯定的意見割合の世代別で比較すると、20、30代の若年層は、それよりも上の50、60代の世代に比べて男女ともにJAに対する評価が低い傾向にあることから、若い人たちからもJAを評価してもらえるように情報発信の強化などに取り組むことが課題となっています。



JA全中は2011年から、食料・農業・JAに関する生活者の意識や行動についてアンケート調査を行っています。定点観測調査により、結果を比較することで、生活者の傾向を把握して事業に生かしていくことを目的としています。対象となるのは、日本全国の地域、性別、年代の異なる2,500人で、今回の調査期間は2020年11月27日から2020年12月3日の6日間です。



耕そう、大地と地域の未来。